

これから社会に向けて、私たちにできることは何か？
被災地に学ぶ生きる力プロジェクト

「被災地に学ぶ生きる力プロジェクト」は、今年度からスタートした第二次日野市学校教育基本構想の基本方針1「かわりの中で知恵を出し合い、自立・協働・創造に向けた『21世紀を切りひらく力』を豊かに育み出す」に基づいて実施する新しい事業です。

この事業の内容は、次の四点です。

①東日本大震災の被災地である気仙沼市に日野市立中学校全八校から代表生徒が訪問し、現地の中学生と直接交流します。

②直接交流では、互いの地域の防災をテーマにしなが、これからの自分自身の生き方や郷土の在り方について意見交換を行い、自らを見つめる機会とします。

③被災地の様子を実際に見学することにより、震災での被害の大きさを体感します。また現地でボランティア活動を行い、復興への願いを行動に結び付けます。

④事業実施後は体験したことを各校で広め、生徒間で深め合いながら、今後の自分自身の生き方、在り方を考える機会として、自ら考え行動することに結び付けます。

代表生徒16名は、10月18日から20日までの二泊三日の日程で宮城県気仙沼市を訪れました。一日目の午後と二日目の午後は、現地の語り部の方と一緒にバスで被災地を回りながら、震災当時の様子や現在の復興状況についてお話を伺いました。

現在、気仙沼市の津波の被害を受けた地域では、土地のかさ上げ工事を進めています。生徒は、実際に現地の様子を

「被災地に学ぶ生きる力プロジェクト」は、今年度からスタートした第二次日野市学校教育基本構想の基本方針1「かわりの中で知恵を出し合い、自立・協働・創造に向けた『21世紀を切りひらく力』を豊かに育み出す」に基づいて実施する新しい事業です。



気仙沼向洋高校跡にて語り部の方の話を聞く。

子を見ながら、語り部の方から話を聞くことにより、被害の大きさとともに被災地の方々が多く悲しみや苦しみを乗り越えて、復興に向けて取り組んでいることを感じ取っていました。



被災物の展示見学

二日目の午前は、気仙沼市立気仙沼中学校生徒会の生徒と防災をテーマに交流を行いました。日野市の代表生徒は、日野市の紹介、日野市で想定される災害とその対策、その際、中学生としてどのようなことができるかという内容の発表を行いました。気仙沼中学校生徒会は、東日本大震災以降の生徒会の取組について発表を行いました。その後「つながり」をキーワードに①生徒同士とのつながり、②地域とのつながり、③気仙沼市と日野市とのつながり、④つながりの三つの分科会で意見交換をしました。



気仙沼中学校生徒会との交流会

その中で、今後は気仙沼中学校と日野市の中学校在の活動の報告など、交流を継続して行っていくことを確かめました。三日目の午前は、ボランティア活動として、お伊勢浜海水浴場の海岸清掃を行いました。主に海岸の材木を拾い集める活動を行いました。三時間弱の活動でしたが、生徒たちは、熱心に活動に取り組んでいました。ボランティアを受け入れてくださった気仙沼復興協会ボランティア受入部の方からは、「一人の力は少ないけれど、震災以降多くの方がボランティアとして活動してくださったおかげで、復旧が進みました。今日の一人一人の活動が積み重なること、大きな力となり、気仙沼が元気になると思います。」と感謝の言葉をいただきました。この三日間で生徒たちは、被災地で多くのことを感じ、考えて過ごしました。生徒からは、「映像で震災の被害の様子には、見ていただけると、被害の大きさが実感できると、津波の高さが17mと言われてもあまり理解できなかったけれど、電信柱よりも高い津波だったことが分かり、津波の怖さを改めて感じた。」「目の前で自分の孫が津波に流されてしまった後悔している方がいるという話を聞いて、自分がその立場だったら、どのような行動したか、私も何もできなかったのでは。」「震災から三年半が経ったけど、復興にはまだまだ長い時間がかかることが分かった。」といった感想が出されました。

また、気仙沼中学校生徒会との交流会で募金活動と一緒に、行こうという提案がありました。早速、代表生徒の呼びかけで、各中学校の合唱祭において気仙沼市の復興を少しでも後押ししようと募金活動を実施しました。被災地への訪問を通して、生徒たち自身がこれからの社会に向けて、自分たちに何ができるか考え、歩みだす一歩となりました。

なお、「被災地に学ぶ生きる力プロジェクト」について、各校で報告会を開催するとともに市全体の報告会を、平成27年1月17日に開催する児童・生徒によるプレゼンテーション大会にて実施いたします。多くの皆様にご来場いただき生徒の活動を応援してくださいようお願いします。

(学校課)

平成26年度NHK全国学校音楽コンクール勢94校が参加。七生緑小学校合唱団は、10月12日の全国コンクールに駒を進めました。2年連続通算4回目の全国コンクール出場です。課題曲『ゆうき』では、自分が生まれた時のことについて家族が書いてくれたメッセージを曲の歌詞に重ねながら、心を込めて歌いました。また、自由曲『お日さま』では、次々と移り変わっていく「お日さま」の色や場面が聴き手に伝わるように、明るくのびやかな歌声で表現。結果、強豪ひしめく中、金賞を受賞!!日本一2連覇に輝くことができました。これまで子供たちを支え応援し続けてくださった全ての方々に、深くお礼申し上げます。今後とも合唱団に応援をお願いします。



七生緑小学校合唱団
第81回NHK全国学校音楽コンクール
全国コンクール小学校の部
2年連続金賞受賞!!

第六回
児童・生徒による
プレゼンテーション大会を
開催します!



教育委員会では、児童・生徒の豊かな表現力と伝え合う力、コミュニケーションの力を育成し、子供たちの学習や活動の成果を広く知っていただくことを目的として、平成21年度から「児童・生徒によるプレゼンテーション大会」を開催しています。

今年度は、六回目を迎え、市内16校の小学校と4校の中学校の児童・生徒が日頃の学習の成果等を発表する予定です。併せて「被災地に学ぶ生きる力プロジェクト」に参加した中学校生徒による発表もします。保護者、市民の皆様のご来場をお待ちしております。

【日時】平成27年1月17日(土)
午前10時から正午まで
午後1時から
午後3時45分まで
【場所】ひの煉瓦ホール
(市民会館大ホール)

(学校課)

平成26年度
全国学力・学習状況調査の結果

小学校6年生及び中学校3年生を対象に、全国学力・学習状況調査が行われ、その結果が文部科学省から公表されました。この調査は、児童・生徒の学力や学習状況の把握・分析を通して、義務教育の成果と課題を検証し、改善を図るとともに、学校における児童・生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てることを目的としています。

日野市の結果は、小学校では、算数の「活用」に関する問題においては、平均正答率が、全国や東京都に比べ高い状況でしたが、国語と算数の「知識」に関する問題では、平均正答率が東京都を下回る結果となりました。中学校では、国語、数学とともに、「知識」に関する問題、「活用」に関する問題において、全国や東京都に比べ、平均正答率が高い状況でした。

今後の課題としては、第二次日野市学校教育基本構想に基づき、小学校段階から個に応じた指導などを一層、充実させることで基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図り、身に付けた力を活用して、考えを書くことや説明することなどの豊かな言語活動を充実させ、児童・生徒に学ぶ楽しさを味わわせられるよう、各学校で授業改善を図ってまいります。

コラム
勉強の意義



日野市立小中学校PTA協議会
副会長 岩崎 哲二さん

「お父さん、何で勉強をするの？」子供から聞かれて、明確に答えられる方は少ないのではないのでしょうか。私が子供の頃に同じ質問をしたら、「お父さんが子供の頃は勉強したくてもできなかったぞ」という答えが返ってきました。勉強に取り組める環境にいるという幸せを認識させる良い答えだったと思います。私は、「勉強すれば世の中のために役立つ人になれるから」と付け加えて答えています。周りの人に良い影響を与えることができ、そういう人が増えれば世の中が良くなる。だから勉強はしなればいけないんだよ、その意義を説明しています。



平成26年度 全国学力・学習状況調査結果

	日野市	東京都	全国
小学校6年			
国語A	75.1	75.5	72.9
国語B	56.4	57.2	55.5
算数A	78.3	79.4	78.1
算数B	62.0	61.2	58.2
中学校3年			
国語A	82.7	80.7	79.4
国語B	56.1	53.2	51.0
数学A	72.6	68.8	67.4
数学B	65.1	61.8	59.8

※Aは主として「知識」に関する問題、Bは主として「活用」に関する問題です。

がひのっ子ばんばつてます

(学校課)

日野第七小学校

ロープジャンプで楽しく体力向上！



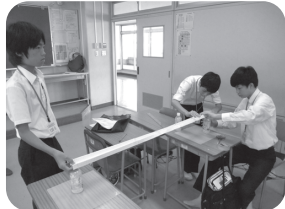
足をそろえて跳ぼう！

日野第四中学校

中学生科学コンテストで3位に入賞し、銀賞を受賞！



表彰式後の記念撮影



実技競技中

家庭教育通信 ⑦

正しいひのっ子は子どもへの大切な贈り物

「ずいぶん厳しく叱られたけど、今ではそれに感謝しています」

いけないことをいけないことと思わない子どもたちが増えていきます。

「自分さえ良ければいい」「ルールを守らない」という人は、なかなか人から信頼されないものです。間違った行いは本気で叱り、その場で正すことが本当の愛情です。

「自分の子だけ良ければいい」

「い」という考え方(自己主義)はやめ、叱るときには何がいけないのか、理由をきちんと伝えましょう。また、気分や感情に流されず一貫性をもって叱ることも大切です。

そして、親自身もルールに反することはしないように気をつけましょう。子どもに信頼され、尊敬される親であり続けるためにも。

文部科学省発行「家庭教育手帳」より

(生涯学習課)

中学生の職場体験

図書館では、7月から11月にかけて中学生の職場体験を行っています。

事前訪問で、服装・持ち物の確認と館内見学を済ませ、図書館の利用案内や書架配置等のパンフレットを持ち帰り、事前学習を行って本番に臨みます。

中央図書館では、先ず職員朝礼で自己紹介。ちよつと緊張気味ですが、フロアに出てブックポストに返された本の返却手続きや書架整理を体験すると、活き活きとした表情に変わります。10時の開館を前に、利用者を迎える時は明るくハキハキと挨拶すること、プライバシーに配慮すること等を説明すると、ぐつと表情が引き締まります。

窓口では、本の貸出・返却、書架への返本、予約が入った本を探す仕事を体験しますが、利用者から「ありがとう」、「頑張つてね」と声をかけられると、緊張が和らぎ笑顔もこぼれます。

この他に、障害者サービス(視覚障害者への対面朗読)や本のリサイクルの準備、傷んだ本の修理も体験します。どれも初めての仕事ですが、担当職員から説明を受けながら熱心に取り組んでいます。

中央公民館

ひのっ子シェフコンテストが開催されました

今年で8回目を迎えるひのっ子シェフコンテストが10月26日(日)に開催されました。

今年は市内小学校に通う児童19グループから応募があり、書類審査で選ばれた6グループが日野市立日野第一中学校を会場とした本選に進みました。

本選ではJ A東京みなみ及び農業者の奥住方彦さんのご協力で10月に収穫することのできる日野産野菜(長ネギ・小松菜・レタス・大根・人参・きゅうり・サツマイモ・かぼちゃ・じゃがいも・玉ねぎ・にんにく・卵)が用意されました。こんなにた



一日の仕事が終了すると、事務室に顔を出し大きな声で「お先に失礼します」と挨拶してくれます。私たち職員も心とむ瞬間です。慣れない環境での仕事お疲れさまでした！

最後に感想を話してもらいますが、「図書館はいろいろな人が利用する場なので、挨拶や接客がとても重要なことを学んだ」、「どの仕事も利用者が使いやすいように工夫していることがわかった」、「将来、本に関わる仕事に就きたいと思った」といった嬉しい言葉も聞かれました。

(図書館)

第8回 ひのっ子シェフコンテスト最終結果

	お料理の名前	学校名	学年
最優秀賞	小松菜とキノコのコロコロハンバーグ	日野第四小	4年生
最優秀賞	カボチャとサツマイモのライスコロッケ	日野第六小	6年生
敢闘賞	～秋の味覚～炊きこまんま	日野第六小	6年生
努力賞	野菜たっぷりカレーうどん	日野第二小	4年生
努力賞	サツマイモのコロコロコロッケ	日野第六小	5年生
努力賞	かぼクリームケーキ	日野第六小	6年生
	生ハムと秋ナスのピザジェノバソース添え	日野第一小	6年生
	パリパリサケの中華風サラダ	滝合小	6年生
	さとじゃがコロッケ～かぼちゃソースがけ～	日野第六小	6年生
	秋の花やかコロッケ	日野第六小	5年生
	秋のスターミニミニハンバーグ	日野第六小	5年生
	とろ～りんごのメンチカツ	日野第六小	6年生
	デザコロ	日野第六小	6年生
	いがぐり風 あげごはん	日野第六小	6年生
	けんちんポン!	日野第二小	6年生
	カリカリ緑のライスコロッケ	日野第二小	5年生
	さつまいもホクホクグラタン	日野第六小	6年生
	秋野菜トースト	日野第六小	5年生
	おかしなカレーうどん	日野第六小	4年生

くさんの食材が日野市内から揃えることができるのですね。

審査員には鈴木審査委員長(服部栄養専門学校教授)、大坪市長、西田教育委員長、白尾実行委員長(実践女子大学教授)のほか、惜しくも本選出場を逃した滝合小学校の加藤くん、清水くん、奥山くんの3名も子ども審査員として参加して頂きました。なお各賞は以下の通りです。

▼最優秀賞「小松菜とキノコのコロコロハンバーグ」四小 斉藤詩苑、岩崎真佳、冠愛華・「カボチャとサツマイモのライスコロッケ」六小 今枝結愛、右田理子、前川原舞▼敢闘賞「秋の味覚」炊きこまんま」六小 石原裕子、青山麻里▼努力賞「野菜たっぷりカレーうどん」二小 安岡ひなた、雨宮美月・「サツマイモのコロコロコロッケ」六小 蝶野結衣、金子温乃・「かぼクリームケーキ」六小 織笠



(中央公民館)

昨年のはひのっ子シェフが考えたメニューから5つの学校のメニューとして学校給食に採用されました。今回はどんなメニューが採用されるのでしょうか？今後の学校給食をお楽しみに！

朋夏、大屋咲里菜。(敬省略)

最優秀賞・優秀賞・敢闘賞・努力賞と用意していましたが、審査員による厳正な審査の結果、本年度は2組が最優秀賞に選ばれました。